

木口記念会館だより

第18号
平成27年12月1日発行

個性豊かな作品が勢ぞろい！！ 第8回芦屋市障がい児・者作品展

11月5日から11日までの1週間、木口記念会館と芦屋市保健福祉センターで開催された「第8回芦屋市障がい児・者作品展」には多くの方々にご来場いただきました。今回は主催団体の一つ芦屋市社会福祉協議会の山岸吉広さんにお話を聞かせていただきました。

この作品展はいつごろから始められたのですか？

2007(平成19)年に「芦屋市手をつなぐ育成会」が中心となって芦屋市総合公園内の会議室を借りて開催したのがはじまりです。2011(平成23)年からは、こちらで開催するようになり、それからは、芦屋市と芦屋市社会福祉協議会それから市内の障がい者事業所の共催で続けています。

みなさんの作品はどのようにして募集されていますか？

市や社会福祉協議会の広報で呼びかけるほか、芦屋市内の障がい者事業所や学校にも直接呼びかけています。今年は約150展の作品が集まりました。

今年の作品展の様子はいかがでしたか？

個性豊かな作品ばかりで、ご来場者の中には、ひとつひとつの作品の前で足を止めて熱心に見てくださる方や、毎年楽しみにしていると声をかけてくださる方もおられました。また、作業所の人たちと一緒に来て自分の作品が展示されているのを見つけてうれしそうにされている方もいらっしゃいました。

この作品展を続けてこられて何か手ごたえを感じることはありますか？

毎年同じ会場で開催させていただいていることで、障がい者への理解が深まり、地域共生という考えが広まってきているように感じます。出展されたみなさんにとっては大きな自信につながり、別の大きなアート展に挑戦される方もでてきています。また、印象的な作品で地域の方に名前を覚えてもらっている方もいます。さらに障がい者事業所の商品開発につなげる動きもあり、その波及効果ははかりきれません。

最後に、これからの意気込みについて聞かせてください

この作品展のことをもっと多くの市民のみなさんに知っていただくために、宣伝に力を入れていきたいです。それから、多くの方々に興味を持ってもらえるように企画面を工夫していきたいと思います。また、障がい者団体と行政、協力団体が協力する形を、今後もしっかりと継続していきたいです。

山岸さんご協力ありがとうございました。

(文責:長濱)



木口記念会館ご利用団体 活動紹介

#4 『特定非営利活動法人 淡路自立サポートクラブ (兵庫県洲本市)』

事務局 戸田 福美さん

当法人の理事長は、1999年(46歳)に突発性脳出血を患い、右上下肢麻痺と失語症の状態となりました。当初は、自身のその状態を受け入れられず、また失語症に対する理解が進んでいないという社会の状況もあり、日々希望の見出せない状況が続きました。

そのような中、車で日本一周の一人旅をされた重度の失語症と右上下肢麻痺がある人物との出会いをきっかけに、今後の自らの可能性と自ら社会に働きかけていく必要性を感じ、

2004年に特定非営利活動法人「淡路自立サポートクラブ」の設立を行いました。

それ以降、『障がいの有無を問うのではなく、互いに支え合う社会』を目指して活動を行っています。

法人の活動としては、「障がいを持ったことで悩んでいる1人でも多くの方が前を向いて歩いて行けるきっかけづくり」としてホームページによる情報発信や理学療法士等の専門職を目指す学生を対象とした講演を通じた人材育成、当事者や家族からの個別相談の受付も随時行っています。

また、当事者や家族の外出・交流の場として絵や書道などに取り組むつどいも実施しており、

そこで作り上げた作品を展示した作品展の開催も行いました。この作品展は、本人が自分自身を自由に表現し、社会に発信していくことが出来た貴重な機会となりました。

法人が活動を行う際に意識していることは、各種関係機関や他団体と協働・連携を行っていくことであり、中でも地元高等学校とは10年にわたり一緒に活動に取り組みました。

週に1度、高校生が自宅を訪問してくれ、共に活動を行ったことは、法人の活動の幅を広げるとともに高校生自身の成長につながっているのではと感じています。

また、これまで法人の活動を継続していけたのは、貴財団からの支援も大きな要因となっています。

失語症が社会に認識されていない中、法人設立当初から助成金や会場提供などの支援をいただき、

大変感謝をしております。今後も、失語症者支援のみならず、障がいのある方々が自分らしく暮らせる

まちづくりに取り組んできたいと考えておりますので、皆さま方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



シリーズ 長濱由裕のかいかん探訪 第3回

ちょっと便利な新しいスペース 2F「フリーミーティングルーム」の巻



こんにちは、木口財団の長濱です。

木口記念会館の建物やお部屋をご紹介しますこのコーナー、今回は今秋当会館2階に新しくオープンした「フリーミーティングルーム」をご覧ください。

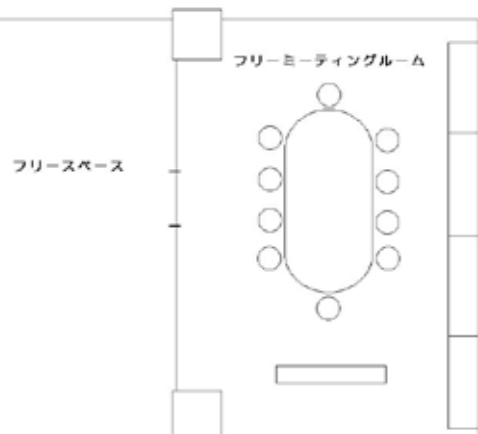
この部屋は、利用団体登録をしていただかなくても無料でお使いいただけるようにいたしました。写真でもお分かりいただけると思いますが、ガラスの壁で仕切られた広々としたスペースで10人程度の会議や会合に最適です。

また、仕切りのないフリースペースでは話しにくい内容の打合せなどにもご利用いただけるのではないのでしょうか。

ご利用につきましては、事前の予約はお受けしておりませんので、ご来館当日に1階会館受付でお申込みください。開館時間内であれば、先着順で1グループ1回につき2時間までご利用いただけます。

詳しくは木口記念会館受付事務所(☎0797-35-5262)までお気軽にご連絡ください。

平面図



基本情報

利用定員	10名(着席)
利用時間	9:30~21:00(1回2時間以内)
備品	机1台、椅子10脚、ホワイトボード1台
料金	無料
予約	不可

18歳以上の方のご利用とさせていただきます。

12・1・2月開催のイベントだより

さをり織りバザー

利用者さんが作った『さをり織り』の製品を展示・販売いたします。

会場内には、さをり織り体験コーナーもあります。

日 時 平成27年12月9日(水)10:00～16:00、12月10日(木)10:00～15:00
 会 場 木口記念会館 1階多目的ホール
 入 場 無料
 主 催 社会福祉法人芦屋メンタルサポートセンター
 就労継続支援B型事業所「ライラック」
 連絡先 ☎0797-32-0441(ライラック)

チャリティーバザー happy market

このバザーは自閉症の子どもたちの支援のためのチャリティーバザーです。

こども服、大人服、くつ、アクセサリー、絵本、おもちゃなどのリサイクル品や手作り品を販売。

また子どもが楽しめる、プラレールやシルバニアファミリーで遊べるスペースもあります。

日 時 平成27年12月13日(日)10:00～14:00
 会 場 木口記念会館 1階多目的ホール
 入 場 無料
 主 催 特定非営利活動法人 あっとオーティズム
 連絡先 world.happy.mamas@gmail.com (寺崎)

金澤翔子書展

金澤翔子さんはダウン症の天才書家として知られています。母泰子さんの献身的な努力を得て、2005年に20歳で書家としてデビューした後、東大寺、中尊寺、厳島神社などをはじめ全国各地で個展や奉納揮毫(きごう)を開催し、2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」の題字を手がけ、2013年には国体開会式において巨大文字を揮毫するなどその活躍の場を広げています。(以上NHKのHPより引用)今回は約50展の作品を展示いたします。

日 時 平成28年2月11日(木)～2月15日(月)10:00～17:00 15日のみ16:00まで
 会 場 木口記念会館 1階多目的ホール
 入 場 無料
 主 催 国際ソロプチミスト芦屋

[詳しい内容はチラシをご覧ください](#)

年末年始の開館日のご案内

【年末】12月24日(木)まで開館

【年始】1月5日(火)より開館

12月25日～1月4日は休館いたします

木口記念会館だより 第18号

発行日 平成27年12月1日

発行人 公益財団法人木口福祉財団

連絡先 兵庫県芦屋市呉川町14-10

木口記念会館

Tel 0797-35-5262

URL <http://kiguchi.or.jp>